



# 東明

□令和4年2月1日発行  
□男鹿市立男鹿東中学校  
男鹿市船越字根木169番地

## 春に力強く羽ばたくために

志を固め、今できる努力を重ねてエネルギーを蓄えよう。

旧暦では、2月を「如月」（きさらぎ）と言います。その名前の由来は、諸説あります。

- 激しい寒さに備えて重ね着をする季節であるから「衣更着（きさらぎ）」
  - 草木の芽が張り出す月であるから「草木張月（くさきはりつき）」
  - 春に向けて草木が生えはじめる頃であるから「生更木（きさらぎ）」
  - 気候が陽気になる季節であるから「気更来（きさらぎ）」
- 秋田の2月は最も雪の多い時期ですが、暦上の「如月」の由来には、このように春が近づいていることを感じさせる説がたくさんあります。これから日一日と春に向かっていくことは間違いありません。

では、東中生にとっての2月はどのような意味をもつのでしょうか。

3年生にとっては、受験や卒業という人生の大きな節目を迎えるための準備をする大切な月です。受験勉強はいよいよラストスパートですから、気力も体力も高めていきましょう。また、卒業式まで一か月と数日です。義務教育最終段階を迎えるにふさわしい東中生の姿で、感動の卒業式が迎えられるよう、一日一日を充実させていってほしいと思います。

2年生は4月には最上級生になり、東中を牽引していくこととなります。既に、生徒会や部活動を3年生から受け継ぎ、リードしていますが、4月からは3年生を頼ることはできません。東中の顔として、1、2年生のモデルとなるよう、学習も体力にも磨きをかけるとともに、信頼される先輩となるよう意識を高めていきましょう。

1年生は、2年生になり先輩を支えたり後輩に手本を示したりする重要な役割を果たす学年になります。2年生によって、学校が決まるといっても過言ではありません。4月には1年生が入学してきます。授業へ落ち着いて取り組む集中力を高め、挨拶や清掃、給食準備など、東中生としての当たり前を確実に実行できるようにしましょう。

このように、2月は、どの学年にとっても、来年度大きく成長するために力を蓄える月であると言えます。

草木にとっての2月は、外見は休んでいるように見えますが、実は、新たな芽吹きのために養分を蓄える月です。芽吹きは、目には見えないところで進んでいます。寒さの中、養分を蓄え、わずかな太陽の光もしっかりとエネルギーに替え、その時を待ちます。

東中生にとっての2月も、芽吹きを待つ草花の営みと異なります。学習面では、一年間の学びを振り返り、しっかりと基礎固めをする。部活動では、体力や基礎的スキルを身に付けるための練習を重ねる。雪が多く、外での活動が制限されるこの時期に、どれほど熟考して志を固め、コツコツと努力を重ねることができかどうかで、春に力強くスタートを切り、羽ばたけるかが決まります。



他の月よりも日数の少ない2月ですが、その分、一日一日を充実させていきましょう。

来たる令和4年の春に向けて、一日一日を大切に東中生一人一人を力いっぱい応援したいと思います。自分に自信をもって、堂々と春を迎えられるように期待します。

### 雪かき隊始動！活気づく朝活動

1、2年生の縦割り班と生活委員会が「雪かき活動」に取り組んでいます。さながら、「東中雪かき隊」の結成です。新型コロナウイルス感染症拡大のために、地域へ出での奉仕活動が自由にならない分、校内において、学校のために活動することは非常に貴重な経験です。

先日、大雪が降った日のことでした。早く出勤してきた教職員が、スノーダンプで除雪をしていましたが、なかなかゴールが見えてきません。そこに雪かき隊の登場です。学年委員や部活動、自主的に加わった生徒が協力し、あっという間に玄関前を除雪してくれたのでした。一人の力はわずかでも、多くの生徒の力がまとまるとその効果は膨大なものになることを、改めて生徒たちに教えられた思いです。

雪かき活動は、マスクと防寒着の着用で実施しています。自家用車で登校している生徒の中には、防寒着を着用しないで登校している生徒がいます。そのままでは、外での活動のみならず、災害時の停電等の際には、寒さから身を守ることができないことが想定されます。自家用車で送迎してもらっている場合でも、防寒着を着用するようにしましょう。ご家庭においても、お声掛けくださるようお願いいたします。

(文責 森 山)